

合併協定調印のごあいさつ

副会長

白田町長 加藤 哲夫

このたび、佐久市、白田町、浅科村、望月町合併協定調印式を迎えることができましたことは、誠に同慶に堪えません。加えて、このことは、今日まで住民の皆様をはじめ関係各位の多大なるご理解、ご尽力をいただいた賜であると、改めて感謝を申し上げます。

市町村合併の必要性につきましては、これまで再三にわたりあらゆる場、機会を通じ説明をさせていただいたところですが、将来想定される諸課題に対し、適切に対処するべく今から手段を講じておかなければなりません。そのためには志を同じくした市町村が一致団結し、合併による各種のスケールメリットを生かし効率の良い行財政運営にあたることが求められています。

平成17年4月1日以降は新市建設計画に盛り込まれております基本理念に添って、目指すべき将来像構築のため行政と市民が協働して取り組み、この合併が長い時間を経ずして真に評価されますことを願ってやみません。

会長

佐久市長 三浦 大助

合併協定の調印により、新市の誕生に向け、大きく前進ができましたことは、ひとえに住民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、お礼申し上げます。

21世紀という時代の大きなうねりの中で、平成13年から私たちも自らの問題として「市町村合併」という大きな課題に取り組んで参りました。

そして、昨年12月末に、志を同じくする4市町村により、法定合併協議会を設置いたしまして、新市建設計画の策定や事務事業のすり合わせ調整等を行って参りました。

日本は、間もなく少子高齢化から急激な人口減少社会が訪れようとしています。平成の市町村合併は、この人口減少社会により、将来必ず生じるであろう大きな課題を克服し、自治体として生き抜くための手段のひとつであり、決してゴールではありません。

未来を担う子どもたちのために、4市町村という垣根を取り払い、「21世紀の新しいふるさとづくり」が、市町村合併により始まります。

来年4月1日に「新生 佐久市」のすばらしいスタートが切れますよう、準備を進めて参りたいと考えております。

副会長

望月町長 竹花健太郎

昨年12月、法定合併協議会が発足して以来およそ8か月、事務事業のすり合わせ協議の調整と新市建設計画の策定が滞りなく整い、今日を迎えることができました。この間、様々な場面で関係者の皆様をはじめ、多くの方々から多大なるご指導・ご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

今後は、来年4月1日の新市の誕生に向けて、4市町村の職員・理事者・議員がこれまで以上に絆を深め、信頼を築きながら、更なる住民福祉の向上に取り組んでまいりたいと考えております。

そして、来たる日に「合併してよかった」と住民の皆さんが真に思えるよう、これまで培ってきた地域の特性を活かしつつ早期に一体性を確保し、新生佐久市が大いなる発展を遂げることを祈念してやみません。

住民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

副会長

浅科村長 佐藤 治郎

21世紀の厳しい時代を乗り切る、足腰の強いまちづくりについて検討を重ねてきた合併の協議が整い、このたび、新「佐久市」の誕生に向けた合併協定書の調印式を挙行できましたことに、関係各位はじめ、ご支援を賜りました地域住民の皆様にも、改めて御礼申し上げます。

当地域は、県歌「信濃の国」にも歌われているとおり自然豊かな肥沃な地であります。この地を開拓し営々と歴史を刻み、発展させてきた先人の精神を新たな都市基盤を築く礎として佐久平の更なる発展を期待すると共に、市町村合併は、地方分権の受け皿である基礎自治体の20年後、30年後の財政基盤の強化と行政の効率的運営を図る、最大のチャンスであります。

合併後は健全財政を堅持しつつも、積極的な施策の展開により、新市の早期一体化の実現に向け地域住民も「協働の精神」で積極的に参画し、一日も早くその成果が表れるよう願うところであります。

住民の皆様には引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

